



西金沢学園だより

～地域と保護者の皆様へ～

NO.8 (67号)

横浜市立義務教育学校

西金沢学園

〒236-0046 金沢区釜利谷西四丁目 19 番 1 号

【本校舎】電話 045-784-0921

【分校舎】電話 045-782-7577

(小) <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/nishikanazawa/>

(中) <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/nishikanazawa/>

経験を通して豊かな成長へ

小学部副校長 藤田 健太郎



9月末から10月初めの季節外れな暑さは過ぎ去り、朝夕の寒さが季節の移り変わりを感じさせてくれる今日この頃、皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

学校では、児童・生徒が毎日元気な姿で学校生活を送っています。9月に実施した体育祭(5～9年生)、10月8日のNKパワスポフェスティバル(1～4年生)、10月25、26日のくすのき祭(5～9年生)といった秋の大きな行事も無事行うことができました。実施に当たり、地域、保護者の皆様のご理解とご協力をいただいたことに感謝申し上げます。

NKパワスポフェスティバル(以降パワスポ)では、4年生が中心となって企画、運営を行いました。4年生の児童は、昨年のパワスポでの現在の5年生の姿を目に焼き付け、今年は自分たちが作り上げるんだという気持ちで臨みました。その思いは、パワスポのスローガンや4年生のパワスポの振り返りに表れていました。そのいくつかを紹介します。

- ・応援団団長としてみんなにアドバイスしたり、学年目標「虹色」の一つである「一心同体」を意識したりして、リーダーとして頑張った。本番は、かっこいい姿を保護者や1～3年生に見せられてうれしかった。
- ・応援団で、休み時間の練習は大変だったけど、「自分がここまでできたんだ。」とうれしかった。
- ・ダンス実行委員として休み時間に集まり話し合っで決めた。決めることに目標の「虹色」を達成している感じがした。
- ・1～3年生のお手本になれるように頑張った。1～3年生に「すごいね。」と言われてうれしかった。
- ・友達と協力できたことがよかった。ペア友達足にも生かしていきたい。
- ・リーダーという自覚をもって頑張ったことが、1～3年生にも伝わったのか、頑張ってくれてリーダーっぽくなった。
- ・決勝審判係として、プログラムの一つ前に集合したり、一年生に優しく声を掛けたりするなど、うまくできた。係の仕事など大変だったけど、一番楽しくできた。
- ・初めて朝礼台の上で話したので、緊張したけれど、すごく楽しかった。
- ・用具係でたくさん仕事があったけれど、家族に「がんばったね」と言ってもらえて、頑張ってよかったなと思った。
- ・全校競技係として考えた競技を、1～4年生のみんなが楽しんでいたので、ほっとした。
- ・児童係として、1～3年生に、「体調悪くない。」や「トイレ大丈夫。」など、優しく声を掛けた。1～3年生が、安心して楽しくパワスポに参加して欲しくて頑張った。
- ・4年生なので、ダンスや競技だけでなく、係の仕事もあったので、とても忙しかった。でも、本番の達成感が去年よりも増したような気がした。

パワスポという大きな行事の運営を任された4年生は、責任をもってやり遂げ、達成感を味わった経験を通して、大きく成長した姿を見せてくれました。この経験を通して次のステージへ向かってくれることと思います。また、1～3年生も4年生の姿を見て、自分たちが4年生になった際には、立派に運営しようという意欲をもってくれたことと思います。体育祭での9年生の姿が5～8年生の成長につながっていくように、それぞれが次につながる経験をしてくれたことと思います。



小学校の運動会は、5、6年生が運営を行うのが一般的で、二学年のうちどちらかが休める時間が出てきます。しかし、本校では、4年生、一学年が運営を行うので、4年生は、自分たちの競技や演技だけでなく、係の仕事もあるため、ずっと活動している児童も出てきます。そんな4年生が、ほっと一息つける時間としてPTA種目を行っております。PTA役員の皆様の多大な協力を得ながら、子どもたちにひと時の楽しさを与えられていたのではないかと感じています。また、温かく見守っていただいた保護者の皆様に感謝申し上げます。

子どもたちは、本校の特色である、ホップ(1～4年)・ステップ(5～6年)・ジャンプ(7～9年)の各ステージでの目標を基に、各行事や日々の学校生活を通して様々な経験を積み成長していきます。もちろん個人差はありますが、一步一步確実に歩みを進め、お互いに認め合いながら、時には切磋琢磨しながら、ともに成長していってくれることでしょうか。そんな子どもたちを学校だけでなく、保護者の皆様、地域の皆様と共に支えていけたらと思います。これからも学校の教育活動にご理解とご協力をお願いいたします。